

■スポーツ健康科学部 2017年度入試概要（予定）

募集人数 **235名** ※募集人数は、一般入試、AO入試、特別入試、学内進学等による募集人数の合計です。

※以下の入試概要は変更される場合があります。
詳細は入学試験要項（AO：6月下旬、一般：10月下旬発行予定）でご確認ください。

Webからダウンロード可能 [立命館](#) [入試情報サイト](#) [検索](#)

入試方式		試験科目・概要	出願期間（郵送・最終日消印有効）	選考・試験日	試験地	合格発表日
AO入試	グローバルリーダーシップ方式	【第1次選考】書類審査 【第2次選考】小論文、個人面接（口頭試問含む）	〈郵送〉 2016年 8月29日（月）～9月2日（金）	【第2次選考】 10月9日（日）	びわこ・くさつキャンパス	【第1次選考】 9月30日（金） 【第2次選考】 10月18日（火）
一般入試	3教科型	【外国語】（配点：120点）英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ） 【国語】（配点：100点）国語総合・現代文B・古典B（漢文は出題しません） 【選択科目】（配点：100点）政治・経済、日本史、世界史、地理、数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列・ベクトル））から1科目選択	〈インターネット〉 2017年1月6日（金）～1月19日（木）	2月1日（水） 2月2日（木） 2月3日（金） 2月4日（土）	① ② ①	2月15日（水） 13時
	学部個別配点（理科1科目型）	【外国語】（配点：150点）英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ） 【数学】（配点：150点）数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（数列、ベクトル）） 【理科】（配点：100点）物理（物理基礎、物理）、化学（化学基礎、化学）、生物（生物基礎、生物）から1科目選択	〈インターネット〉 2017年 1月6日（金）～1月25日（水）	2月7日（火）	①	2月18日（土） 13時
	センター試験併用方式（3教科型）	【外国語】（配点：100点）英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ） 【国語】（配点：100点）国語総合（近代以降の文章）、現代文B 【センター試験受験科目】（配点：100点） 数学、公民、地理歴史、理科から高得点1科目を採用	〈インターネット〉 2017年 1月6日（金）～1月13日（金）	2月8日（水） 2月9日（木）	①	2月15日（水） 13時
	7科目型	【センター試験受験科目】（配点：合計900点） 外国語、国語、数学（配点：各200点、合計600点）と公民、地理歴史、理科から高得点3科目を採用（配点：各100点、合計300点）	〈インターネット〉 2017年 1月6日（金）～1月13日（金）	本学独自の試験は実施せず、センター試験の得点のみで判定。 同一・他学部の各科目・教科型を併願することも可能。	①	2月15日（水） 13時
	5教科型	【センター試験受験科目】（配点：合計700点） 外国語、国語（配点：各200点、合計400点）と数学、公民、地理歴史、理科から高得点3科目を採用（配点：各100点、合計300点）	〈インターネット〉 2017年 2月13日（月）～3月1日（水）			3月16日（木） 13時
後期分劃方式	後期型（4教科型）3月選考	【センター試験受験科目】（配点：合計600点） 外国語、国語（配点：各200点、合計400点）と数学、公民、地理歴史、理科から高得点2科目を採用（配点：各100点、合計200点）	〈インターネット〉 2017年 2月13日（月）～3月1日（水）	3月7日（火）	①	3月16日（木） 13時
	センター試験併用3教科型	【外国語】（配点：100点）英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ） 【国語】（配点：100点）国語総合（近代以降の文章）、現代文B 【センター試験受験科目】（配点：100点） 数学、公民、地理歴史、理科から高得点1科目を採用	〈インターネット〉 2017年 2月13日（月）～2月24日（金）			
試験地		①東京・金沢・名古屋・草津・京都・大阪茨木・大阪南・神戸・広島・高松・福岡 ②札幌・仙台・大宮・新潟・松本・静岡・浜松・福井・三重・姫路・和歌山・岡山・松江・山口・松山・高知・北九州・大分・熊本・鹿児島				

※各入試方式の出題範囲等については、入学試験要項で確認して下さい。

information 1 公式LINEを開設しました！



information 2 スポ健Blog 教員ブログ毎日更新中!! 公式WEBサイトよりご覧下さい。

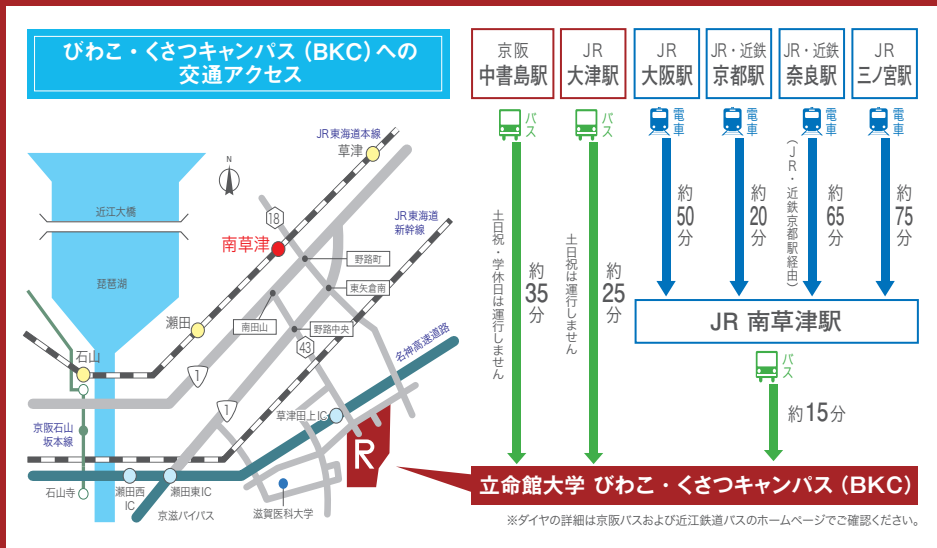


facebook <https://www.facebook.com/rits.spoken/>

公式WEB [立命館](#) [スポーツ健康科学部](#) [検索](#)



〈お問い合わせ〉
びわこ・くさつキャンパス
スポーツ健康科学部事務室
〒525 - 8577
滋賀県草津市野路東1丁目1 - 1
TEL. 077 - 561 - 3760



Sport and Health Science

スポーツ健康科学分野の最先端がここに

Field of Dreams

RITSUMEIKAN UNIVERSITY

立命館大学 スポーツ健康科学部 2017

What's “Sport and Health Science”?



「スポーツ」と「健康」を科学する。 4つのコースの学びを踏まえ、 社会に貢献する実践力と 大きな視野を育む。

今、社会では、健康の維持・増進に役立つ科学的な運動指導、日常生活を充実させる存在としてのスポーツのあり方が求められています。このような社会的ニーズに応えるため、スポーツ健康科学部では総合的・学際的な観点から「スポーツ」と「健康」に関わる幅広い課題にアプローチします。

理学、工学、保健衛生学、医学、教育学、経営学などとあわせて、実践的な活動にも取り組むことで、現状の課題を把握し、解決策を提示できる人材を育成します。

そのために、体系的なカリキュラムを用意。1・2回生ではスポーツ健康科学に関する基礎的な科目を学び、3回生から多様な関心や目指す進路に対応した「スポーツ科学」「健康運動科学」「スポーツ教育学」「スポーツマネジメント」の4コースに分かれて専門的な学びを深めます。

4つのキーワード

科学的に競技力を向上させる	健康の維持・増進を図る
保健体育・多様なスポーツに関わる指導法を探る	組織の運営を学ぶ

スポーツ科学



人のパフォーマンスはどのようにして向上するのか、最新の設備を使って学ぶ

久保 友美 さん

4回生／奈良県・奈良学園高等学校 出身

自分自身の身体を科学的に分析してみたいと考え、スポーツ科学コースを選びました。1回生時からスポーツや健康に関する幅広い講義を受講できていますが、なかでも被験者の学生に対する実験や分析を行う「パフォーマンス測定評価実習」を通し、身体を科学的に分析することに興味を持ちました。また、英語科目における文献調査や、英語で自分の意見を伝える講義を通し、プレゼンテーションのスキルやまとめる力がついたと思います。

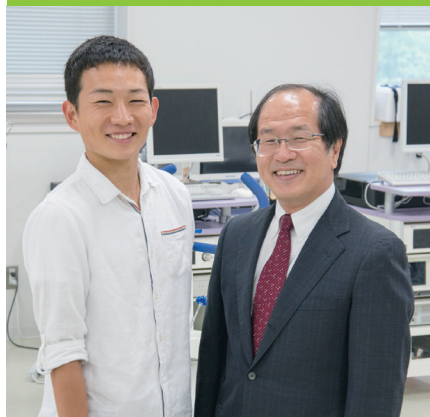
これらは、自らが研究したことを他者に伝える際に、活かされていると感じます。

最先端の施設・設備に囲まれ
実践へ活かすスキルを学ぶ

後藤 一成 准教授

スポーツ科学コースは、バイオメカニクス、スポーツ工学や運動生理学に関すること等、幅広く学べるのが特色です。例えば、オリンピック選手の動きの特性、なぜオリンピック選手は強いのか、選手がさらに高いレベルを目指したい時に、どんなトレーニングをすればよいのか、身体の機能の高め方や動作について、理論的に考えていくのがスポーツ科学です。

健康運動科学



世界的に有名な「TABATAトレーニング」の考案者のもとで、健康について学ぶ

清水 崇行 さん

4回生／埼玉県・春日部共栄高等学校 出身

健康や栄養学に関することを学びたいと考え、幅広く学べる4つのコースがある、この学部を選びました。高校時代の部活動の経験から、田畑教授考案の「TABATAトレーニング」に興味を持ち、先生のゼミで勉強しています。3回生時には、医療機関での実習を経験し、年配の方への運動を通した健康支援の取り組みを経験しました。現在は、運動は健康に良いと言われる一方で、運動方法によっては健康へ悪影響を及ぼす可能性があるということに興味を持ち、骨と運動の関係について研究しています。

将来は、健康志向の高まりに対応するメーカーで、4年間学んだ経験を活かしたいです。

健康の維持・増進に貢献できる
運動指導者の育成を目指す

田畑 泉 教授

運動量・身体活動量を増加させたり、体力を向上させると様々な生活習慣病になる確率が下がります。健康運動科学コースでは、健康の維持増進に対する運動・身体活動の効果のメカニズムを学んだ上で、健康を保つためのプランを提案できる人材を育成します。社会的なニーズも大きく、生活習慣病などの予防に貢献できる知識・実践力を養います。

スポーツ教育学



教育現場での実習を通し
生徒に寄り添えるような先生を目指す

森江 春菜 さん

3回生／熊本県・済々黉高等学校 出身

小学4年生からバレーボールを続けるなかで、感覚的に感じていたことを理論的に学びたいと考え、本学部を選択しました。もともと興味があった幼児・児童期の発達について学ぶ講義が多くあるなど、充実した大学生活を送っています。特に、「サービスラーニング」という科目では、大学近隣の小学校において、小学6年生を対象とする運動指導を1年間行うことができ、教育実習に行く前から実際の学校現場に出るという非常に貴重な経験をしています。

子どもの身体と、運動発達に関するゼミに所属しているので、これからも理論と実践を意識した活動を行っていきたいと考えています。

哲学や科学的根拠に基づいた
人を育てるための指導技法を学ぶ

上田 憲嗣 准教授

体育・スポーツに関する指導理論・実践を学ぶコースです。教育学・栄養・コーチング学・心理学・発達発達学・障がい者スポーツ等、バラエティーに富んだ領域において、指導実践の行い方を常に問いかけることが、本コースのコンセプトです。教員や、スポーツ指導者いずれも、科学的根拠に基づいた指導技術・指導方略が重要となります。

スポーツマネジメント



個性を尊重し、組織としての成果もあげる
リーダーシップについて学ぶ

中野 秀紀 さん

4回生／長野県・松本県ヶ丘高等学校 出身

高校は理系コースでしたが、文理融合の学問であるスポーツ健康科学を学ぶことで自らの可能性や夢を広げたいと考え、入学しました。SPOCHA+という自治会組織に所属し、イベントを企画運営した経験から、組織の構成やリーダーシップについて深めようと思い、スポーツマネージメントコースを選択しています。ゼミでは主に組織心理学のリーダーシップについて学び、サーバント・リーダーシップという、メンバーひとりひとりに寄り添い、悩みや目標を共有し、一緒に夢を叶えていくという支援型のリーダーシップについて研究しています。卒業後は、製菓メーカーへの就職が決まっています。食を通じて人々の健康分野や生活水準の向上に貢献したいです。

スポーツを題材に、マネジメントなど
実践的なスキルを身につけます

山浦 一保 教授

観る、する、支えるなど、非常に多面的なスポーツと人との関わりをさまざまな角度からデザインするのが、スポーツマネジメントの世界です。スポーツを題材に、リーダーシップやマネジメント、マーケティングなどの社会に通用する実務的なスキルを身につけるとともに、スポーツの振興についても考察します。

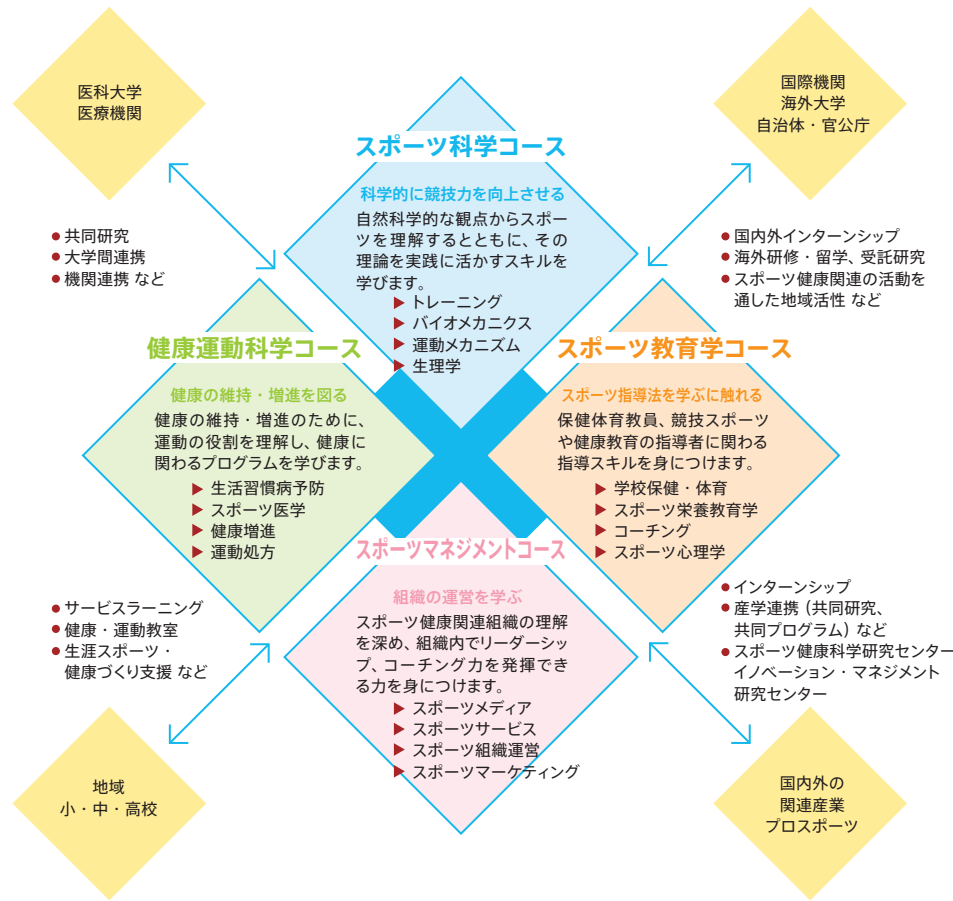
Curriculum

3 回生から
4 コースに分かれ、
関心や進路に応じた
実践的教育を学ぶ

学際的に理論を学ぶとともに、国内外の組織等との連携や、最新鋭の施設・設備を活用した実践的教育を展開します。

身につけることができる知識・能力

- 1 スポーツ健康科学を構成する多様な分野の基礎知識
- 2 組織を動かすリーダーシップ・コーチングの力量
- 3 理論と実践を通したスポーツ健康分野の専門知識・技術



学習段階に合わせ、各プログラムをバランス良く配置したカリキュラム

自然科学と社会科学を網羅した総合的な視点からスポーツと健康にアプローチします。

Curriculum		1 回生	2 回生
		1 セメスター	2 セメスター
		基礎的力量	
基礎専門科目	リテラシー科目	日本語表現法 基礎理科 簿記入門	基礎数学
	基盤科目	スポーツ健康科学 生涯スポーツ論	基礎スポーツ医学Ⅰ(内科系) 学習科学論 マーケティング論 基礎経営学
専門科目	共通科目	スポーツ健康科学特殊講義Ⅰ スポーツ健康科学セミナーⅠ	調査方法論
	実習科目	スポーツ指導実習A(バスケットボール/ソフトボール) スポーツ指導実習A(バレーボール) スポーツ指導実習A(サッカー) スポーツ指導実習B(ダンス)	スポーツ健康科学特殊講義Ⅱ スポーツ健康科学セミナーⅡ スポーツ指導実習B(陸上競技) スポーツ指導実習B(器械体操) パフォーマンス測定評価実習Ⅰ

小集団
演習

基礎演習 ※25名程度

研究入門 ※20名程度

●1・2回生では、プロジェクト発信型英語「英語P(プロジェクト英語)」・「英語S(英語スキルワークショップ)」が外国語科目(必修)として配置されています。

Message

グローバルな視野と
リーダーシップを備え
スポーツ健康科学分野への理解をもって
世界で活躍するために



現在、国内では2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックへ向け、スポーツを中心とする様々な取り組みが行われています。スポーツ健康科学の分野においてもさらなる発展を国内、国外から期待されている状況です。

そんな中、本学部においては、学部設立より、グローバルな視野とリーダーシップを備え、スポーツ健康科学分野への理解をもって世界で活躍する人材の育成を目指してきました。

それは、単に海外に行くということだけでなく、国内外において、世界に貢献する研究や開発活動を担うことももちろん含まれます。そのために本学部の教員は、世界中にネットワークを持ち最先端の研究成果を、国際発信をされている研究者で構成しています。

また、それらの研究にふさわしい施設・設備・ネットワークが整っています。この素晴らしい環境の中でこれからの未来を作る皆さんに、ぜひ学んで頂きたいと考えています。

そして、「あいコア(i-core)※」精神で表される、スポーツ健康科学のプロとしての視点を持って、世界中で活躍していただきたいと思います。

スポーツ健康科学部 学部長
伊坂 忠夫 教授

※「あいコア(i-core)」精神

プロフェッショナルに求められる、志・思考・行動を、本学部の教育研究棟(Integration Core)の愛称「あいコア(i-core)」で表現し、常に心がけています。

I ... integrity 高志
C ... challenge 挑戦
O ... original 創意
R ... research 研究
E ... effort 全力

講義課題「学部長インタビュー」の様子



3 回生		4 回生
		5 セメスター
		6 セメスター
		7 セメスター
		8 セメスター
		専門的力量
各コース専門科目	スポーツ科学コース	エクササイズプログラミング論 スポーツ医工学 スポーツサイバネティクス論 スポーツ生化学 スポーツ生理学 スポーツバイオメカニクス論 スポーツ科学特殊講義
	健康運動科学コース	運動処方論 健康運動指導論 健康増進科学 運動生理学 生活習慣病論 健康施策論 健康運動科学特殊講義
	スポーツ教育学コース	スポーツ栄養教育学 学校保健学 スポーツ教育学 スポーツカウンセリング論 スポーツ指導論 アダプテッドスポーツ論 スポーツ教育学特殊講義
	スポーツマネジメントコース	組織マネジメント論 サービスマネジメント論 スポーツビジネス論 スポーツ政策論 スポーツマーケティング論 スポーツメディア論 スポーツマネジメント特殊講義
卒業論文	専門英語(スポーツ健康科学Ⅰ)	インターンシップ(健康運動指導士) 専門英語(スポーツ健康科学Ⅱ)
	スポーツ指導実習B(水泳)	
	健康スポーツ指導実習	解剖・生理学実習

専門演習(ゼミナール) ※10名程度

専門演習(ゼミナール) ※10名程度

※1クラスあたりの人数
カリキュラムの内容は予定であり変更の可能性があります。

大学院進学
就職

Study

「理論と実践」の
学びを通じて、
社会に貢献できる
人材を育てる

スポーツ健康科学分野の基礎となる理論はもちろん、実践的な教育にも重きを置き、実験・実習やインターンシップ、サービslラーニングといった地域・企業と連携する科目も充実しています。授業と課外活動が連携し、理論で学んだことを実践することで学びを深め、現場で応用できる力を養成。このような「理論と実践」双方の学びを通し、社会に貢献できる人材を育てます。

総合的・学際的な科目から
スポーツ健康分野を学ぶ

理論

実践

理論をスポーツ健康分野の現場で
実践する

■ インターンシップ

立命館大学はインターンシップの派遣者数で日本でも有数の規模を誇ります。そんな立命館大学のなかで、スポーツ健康科学部は、派遣者数・実習先(提携先)企業・団体数が最も多い学部です。実習先は、Jリーグのプロサッカークラブやプロ野球独立リーグ、スポーツ用品メーカーだけでなく、出版社や教育委員会など、多岐に渡ります。また、海外でのインターンシッププログラムも存在し、グローバルに活躍したい学生を応援しています。

■ 学生体験談

【JISS〈国立スポーツ科学センター〉】

進路に迷っていた3回生の夏休み、研究員という仕事について知りたいという思いから、JISS(国立スポーツ科学センター)でのインターンシップに参加しました。クロスカントリースキー選手のVO2max測定や、陸上ハードル選手のモーションキャプチャによる動作測定等の補助を担当し、トップアスリートのパフォーマンスや限界までの挑戦を間近で見ることができました。また、最先端のトレーニング施設や、レスリング日本代表強化合宿の練習も見学しました。今回の経験で、トップアスリートのパフォーマンスに圧倒されたと共に、今学部で学んでいることがどのような形で活かされるのか、スポーツに関わる仕事の幅広さに気付かされました。将来の進路選択の幅も広がり、自身の研究や学習に対するモチベーションも高まっています。そして、このインターンシップでの経験から、JISSで働くことの魅力を感じ、JISSへの就職を目指して勉強中です。



内田 絵梨 さん
4回生／大阪府・桜宮高等学校 出身

■ スポーツ健康科学分野において 圧倒的に高い水準にある研究力

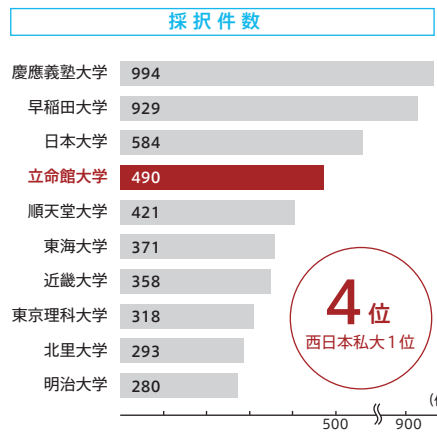
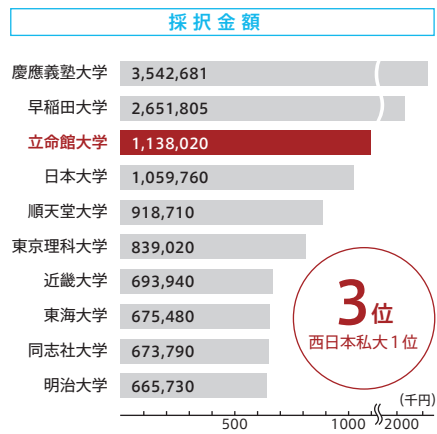
立命館大学は、文部科学省から発表された「平成26年度科学研究補助金(科研費)の配分」において、採択金額ランキングで慶應義塾大学、早稲田大学に次ぐ私大3位(西日本私大1位)、採択件数ランキングでは私大4位(西日本私大1位)となりました。

そんな立命館大学の中でもスポーツ健康科学部は、科研費の新規採択率が50%(全国平均26.6%)、保有率92%と、最も高い学部となります。

各教員が高度な研究実績を持ち、国内外においてスポーツ健康科学分野をリードする研究を積み重ねてきました。この数値は、スポーツ健康科学分野の他大学と比較しても圧倒的に高い水準にあり、本学部の研究水準の高さを示しています。

科研費ランキング

[平成26年度採択金額・件数(いずれも新規+継続)私立大学のみ]



☑ パフォーマンス測定評価実習 I

個人の運動能力や身体機能を数値化し、正しく評価する方法を学びながら、実習を行う講義です。この講義を受講するまでに身に付けた、生理学やバイオメカニクスの知識を、フィールドで実践します。(この科目は、専門分野が異なる教員が3名で担当し、様々な側面から指導を行うことで、実践力を養います。)

エアロビクスII (心拍数計を用いて観察)



階段昇降と、400m歩行し、運動中の心拍数を計測する。また、運動中の感覚と心拍数の関係も観察します。

レジスタンス運動 (発揮筋力評価法)



パフォーマンスの向上には、その人と目的に応じた、適切なトレーニングが必要です。トレーニング強度を決定するために、個人によって異なる身体能力を数値で把握します。

形態の観察II (超音波測定機器を用いて筋厚および脂肪厚を観察)



超音波測定機器を用いて、脂肪の厚みと筋肉の厚みを計測します。体脂肪計や、キャリパー法、MRIなど様々な測定方法の結果と比較します。

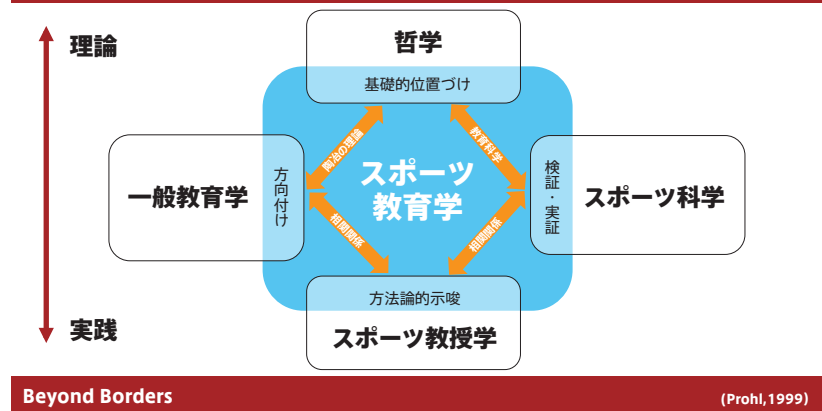
☑ スポーツ教育学

このスポーツ教育学という授業では、体育だけではなく「スポーツ」という概念を捉えることから、それをどのように指導、教育へと繋げていくかということを、「スポーツ科学」「スポーツ教授学」「一般教育学」「哲学」の4つの領域から学びます。

スポーツを科学的に捉え、新しく出てきた知見を検証・実証し、それをどのように教えていくのかという方法論の問題。さらに、今の大きな教育の狙いや流れを踏まえて学んでいきます。

授業の前半では、身体活動量と病気の関係性のような新しく出てきた知見を、どのように教育に活かしていくのかということや、同じ内容の教育であっても、個人、集団、グループ活動、1対他といった、どのようなグルーピングが効果があるのかということを扱います。一般教育学で重要だとされている、自ら思考判断できる子供たちを、スポーツ教育学の領域で学べるのではないかと思います。もちろん、人間が人間を教えるという英知の行為になるので、基本的・基礎的な「哲学」的な前提も踏まえて、授業を構成しています。

R スポーツ教育学の概観



■ 2016年度担当教員：上田 憲嗣 准教授

Introduction

ト
ッ
プ
レ
ベ
ル
の
教
員
陣
が、
高
度
な
研
究
活
動
を
展
開

高度な研究実績を持ち、

国内外においてスポーツ健康科学分野を

リードする教員陣が揃っています。

専門分野の枠を超えて有機的に連携し、

高度な教育・研究を実践しています。



家光 素行 教授

【専門分野】 スポーツ生理・生化学
【研究テーマ】 心臓・血管に対する最適なトレーニングおよび栄養摂取に関する研究



伊坂 忠夫 教授

【専門分野】 スポーツバイオメカニクス、スポーツ科学
【研究テーマ】 スポーツ競技力ならびに日常活動を高めるための応用バイオメカニクス



藤田 聡 教授

【専門分野】 運動生理・生化学
【研究テーマ】 効率的な骨格筋肥大を目的とした運動と栄養摂取に関する研究



後藤 一成 准教授

【専門分野】 トレーニング科学
【研究テーマ】 スポーツ選手の競技力向上のための低酸素トレーニングや健康増進のためのトレーニングに関する研究



塩澤 成弘 准教授

【専門分野】 スポーツ工学、生体工学、医用工学
【研究テーマ】 工学的アプローチでスポーツ・健康を科学する



内田 昌孝 助教

【専門分野】 運動免疫学
【研究テーマ】 運動による免疫機能変化と腸内細菌叢との関連性に関する研究



栗原 俊之 助教

【専門分野】 筋バイオメカニクス・運動生理学
【研究テーマ】 筋腱複合体のバイオメカニクス、筋生理学



寺田 昌史 助教

【専門分野】 スポーツ医学・運動神経生理学・バイオメカニクス
【研究テーマ】 身体運動にともなう下肢傷害（特に足関節捻挫とCAI）がどのように人の「生活と健康」に影響を与えるかを探る

スポーツ科学

アスリートに限らない

身体運動の原理原則の解明

人体の運動力学、バイオメカニクスの研究を軸に、運動の原理原則の解明に力を入れています。経験的に良いとされる身体の使い方、まだ科学的に立証されていないものは多くありますが、近年の計測機器や解析機器の進化により、分析できる対象や動作が広がってきました。

現在、メーカーと共同で、足のアーチ構造が人体へ及ぼす影響や、足のアーチを作るための靴下やインソールの有用性を研究しています。将来的にはアーチ構造を持ち、身体への負荷を軽減できる靴下の開発を目指しています。



長野 明紀 教授

専門分野 スポーツサイバステクス、スポーツバイオメカニクス
研究テーマ 人体の運動制御のメカニズムに関する研究運動機能向上のための工学的支援



大塚 光雄 助教

【専門分野】 体育科教育・スポーツバイオメカニクス
【研究テーマ】 確かな体育的学力定着を目指す授業研究、競技力向上を目指す動作解析



菅 唯志 助教

【専門分野】 運動生理学
【研究テーマ】 骨格筋機能を高める生理学的ならびに栄養学的アプローチに関する研究



有光 琢磨 特任助教

【専門分野】 運動生理学
【研究テーマ】 運動時の筋エネルギー代謝調節及び酸素摂取動態に関する研究



岡松 秀房 特任助教

【専門分野】 アスレティックトレーニング・スポーツ医学・トレーニング科学
【研究テーマ】 スポーツ傷害予防やアスレティックリハビリテーションに関する研究



佐藤 隆彦 特任助教

【専門分野】 スポーツバイオメカニクス
【研究テーマ】 優れたスポーツパフォーマンスを生み出す運動メカニズムの解明

健康運動科学

パフォーマンスを発揮・持続できるよう

医学的な側面から傷害と向き合う

整形外科医としての現場経験を活かし、スポーツ傷害全般を研究しています。怪我をする要因は様々であるため、解剖学や組織学の観点から身体の構造についてアプローチするほか、トレーニング方法やグラウンド、シューズなどの環境要因についても調査し、研究しています。また、怪我からの回復に関しても、現在行われている治療やリハビリテーションの効果、再発予防の面でも研究しており、アスリートがよりよいパフォーマンスを発揮・持続できるよう、医学的な立場からサポートしていきたいと考えています。



篠原 靖司 教授

専門分野 スポーツ医学・整形外科科学
研究テーマ 組織的アプローチによる機能解剖およびスポーツ傷害に関する研究



金森 雅夫 教授

【専門分野】 スポーツ医学 疫学・予防医学
【研究テーマ】 スポーツ活動のヘルスプロモーション効果に関する応用健康科学研究



真田 樹義 教授

【専門分野】 応用健康科学・運動処方
【研究テーマ】 生活習慣病予防のためのテーラーメイド運動処方の研究



田畑 泉 教授

【専門分野】 健康科学
【研究テーマ】 身体活動・運動による生活習慣病予防に関する研究、競技力向上のための高強度・短時間・間欠的トレーニングに関する研究



橋本 健志 准教授

【専門分野】 運動生理・生化学
【研究テーマ】 糖や脂肪燃焼の亢進および乳酸の有効利用に関する研究



藤本 雅大 助教

【専門分野】 身体運動のバイオメカニクス、リハビリテーション科学
【研究テーマ】 加齢による姿勢・運動制御機能の低下メカニズムの解明

スポーツ教育学

健康でスポーツを楽しむために

スポーツの食卓を美味しく

運動時において科学的根拠に基づいた栄養素の補給は、とても大切です。しかし、タンパク質やアミノ酸などの栄養素の摂取を優先するあまり、アスリートは楽しく食事ができなくなってしまう傾向にあります。この問題を解決するため、「スポーツの食卓を美味しく」をテーマとした食育に関する研究を進めています。去年は、アスリートが美味しく栄養素を摂取できるように、京都の企業と共同で「SOY DELI」という大豆粉で作ったアスリートスイーツを開発するなど、地域と連携した様々な取り組みも行っています。



海老 久美子 教授

専門分野 スポーツ栄養学、栄養教育学
研究テーマ 栄養的支援と食教育の効果についての研究



大友 智 教授

【専門分野】 スポーツ教育学、体育科教育学
【研究テーマ】 スポーツ指導場面・体育学習場面における教授・学習に関する研究



岡本 直輝 教授

【専門分野】 コーチング
【研究テーマ】 選手の技術力向上に関するコーチング研究



佐久間 春夫 教授

【専門分野】 スポーツ心理学、精神生理学、健康心理学、スポーツ統計
【研究テーマ】 運動・スポーツの心理的側面に関する科学的根拠を探る



上田 憲嗣 准教授

【専門分野】 体育科教育学・発達発達学
【研究テーマ】 子どもの身体と運動の発達発達と体育・スポーツ指導に関する研究



永浜 明子 准教授

【専門分野】 学校保健学、アダプテッド・スポーツ
【研究テーマ】 インクルーシブ体育のあり方、指導者育成に関する研究



友草 司 准教授

【専門分野】 スポーツ教育学・体育科教育学
【研究テーマ】 「言語活動」を充実させる中学校体育授業指導プログラムの開発及び効果検証

スポーツマネジメント

まちづくり・地域社会の課題の

ソリューションにスポーツの力を生かす

スポーツ振興とまちづくりをテーマに、人とスポーツの関係性をデザインするだけでなく、そこにもう一つなかにプラスして、社会問題のソリューションにスポーツの力が生かされないかという視点で研究しています。また、NPO法人や総合型地域スポーツクラブの研究を進めている中で、国や地方自治体の政策や支援は、果して本当に地域の自律や自立につながっているのだろうか、という疑問から、住民自らが豊かなスポーツライフと地域を形づくるための支援のあり方も研究しています。



長積 仁 教授

専門分野 スポーツマネジメント
研究テーマ スポーツ振興とまちづくり



種子田 稜 教授

【専門分野】 経営学、スポーツビジネス、スポーツマネジメント
【研究テーマ】 プロスポーツビジネスモデルの研究



山浦 一保 教授

【専門分野】 産業・組織心理学
【研究テーマ】 チーム力とより良い人間関係構築に関する心理学的研究



小沢 道紀 准教授

【専門分野】 経営学
【研究テーマ】 スポーツ健康・ツーリズム・地域等に関わるマーケティングの研究



杉浦 仁美 講師

【専門分野】 社会心理学・集団力学
【研究テーマ】 他集団への否定的評価、攻撃行動が生起する心理メカニズムの検討



英語科目担当教員

祐伯 敦史 准教授

【専門分野】 神経言語学
【研究テーマ】 言語理解や習得のプロセスについて研究・解明する



英語科目担当教員

嶋村 貢志 講師

【専門分野】 理論言語学（生成統語論、形式意味論）
【研究テーマ】 格・一致に関する統語的現象の通言語的研究。日本語の補文構造の再考

各教員の
研究紹介
ムービーも
配信中！

教員の研究内容等詳しい情報は、
「スポーツ健康科学部ウェブサイト」

<http://www.ritsumeai.ac.jp/shs/>

スポーツ健康科学部 立命館

検索

教員の実績インフォメーション（抜粋）

経歴・受賞歴等

- ＜家光 素行＞
 - American Heart Association Scientific Meeting 2004, Scientific Sessions Poster Competition- Award受賞
- ＜伊坂忠夫＞
 - トレーニング科学研究賞大賞（2011）
- ＜長野 明紀＞
 - 日本バイオメカニクス学会学会賞（2004）

- ＜藤田 聡＞
 - アメリカ生理学会（APS）学会賞（2005）、アメリカ栄養学会（ASN）学会賞（大塚 光雄）
 - International Conference on Biomechanics in Sports Young Investigator Award 3rd prize（2012）
 - 日本体育学会第64回大会「若手優秀賞」(2013)
- ＜橋本 健志＞
 - American College of Sports Medicine (ACSM) New Fellow 受賞（2014）
 - American Physiological Society

- The Perkins Memorial Award 受賞（2005）
- American College of Sports Medicine (ACSM) International Student Award 受賞（2004）
- Experimental Biology, 2006. (Beginning Investigator Award) 受賞（2006）
- ＜岡本 直輝＞
 - 日本体育測定評価学会優秀発表賞（2013）
- 『球技選手の「かわす」動作の評価法の検討』

執筆論文・書籍

- ＜真田 樹義＞
 - 「サルコペニアを知る・測る・学ぶ・克服する」(共著/NAP)
- ＜大塚 光雄＞
 - Effect of expertise on 3D force application during starting block phase and subsequent steps in sprint running Journal of Applied Biomechanics (2014)
- ＜岡本 直輝＞
 - A agility test for rugby using sidestep. Football Science : 12巻, 11-17, 2015.

- ＜長野 明紀＞
 - バイオメカニクスー人体運動の力学と制御-長野明紀、古岡伸輔（訳書）ラウンドフラット
- ＜藤田 聡＞
 - 体育・スポーツ系指導者・学生のためのスポーツ栄養学（共著/市村出版）
- ＜藤本 雅大＞
 - Fujimoto M et al., Center of pressure control for balance maintenance during lateral wait-pull perturbations in older adults. Journal of Biomechanics. 2015. 48(6), 963-968.

- ＜大友 智＞
 - 「21世紀スポーツ大事典〈授業研究の方法と研究成果〉」大修館書店.560-563.2014
- ＜永浜 明子＞
 - 「発達障がいのある青年との交換日記ー感情表現と関係性構築の観点からー」メタフュニカ.45:97-110.2014
- ＜海老久美子＞
 - 「女子部活食」ベースボールマガジン社.2014

Course after Graduation

社会人基礎力とグローバルな視野を備えた人材には、多様な進路が広がっている



総合的・学際的な学びを通し、専門知識とその関連領域の幅広い基礎知識を養い、理論と実践の融合したカリキュラムで身につけた社会人基礎力やグローバルな視野を備えた人材は、さまざまな分野での活躍が期待されます。



卒業生の声
1

近藤 雅大 さん

東海テレビ放送株式会社 勤務
愛知県・岡崎北高等学校 出身

将来はスポーツ番組の制作を通し、感動を伝えたい

営業部に所属し、テレビ番組のCM枠をスポンサー企業に販売しています。研修期間には番組制作なども体験し、「みんなで一つのものをつくる喜び」を感じるとともに、どの現場でもチームワークの大切さを実感しました。在学中はゼミで地域の子どもたちを対象としたスポーツイベントなどを企画・運営したのですが、そこで育まれた協調性やコミュニケーション能力は、多くの人との関わりが生まれる今の職場でも役立っています。将来的には大好きなスポーツ番組の制作に携わることが目標です。



卒業生の声
2

木戸 康平 さん

大学院／スポーツ健康科学研究科
スポーツ健康科学専攻 博士課程後期課程 在学中
立命館大学 スポーツ健康科学部 出身

糖代謝・糖尿病などの疾患をどう改善するか

2010年4月、スポーツ健康科学部の1期生として入学しました。学部時代には国際学会での発表を経験するなど、最先端の研究に触れることができた4年間だったと思います。その後、大学院に進学し、現在はレジスタンストレーニングについて研究しています。これは運動で糖代謝をいかに改善できるのかという点について、脳細胞内のシグナルや分子レベルで分析を行うものです。スポーツ健康科学部は、細胞・分子レベルから、人のパフォーマンス向上まで、幅広い分野で最先端の研究を行っているのが特長です。

この学部や大学院に在籍することで、様々な研究機関・民間企業とタイアップした研究に携わることができるということは、研究者を目指す上でとても勉強になり、大きなメリットであると感じました。

就職分野と実績

■ スポーツ関連企業

グンゼスポーツ (株)・(株) ゴールドウィン・ゼビオ (株)・セントラルスポーツ (株)・つるや (株)・(株) デサント・(株) ドーム・(株) 東大阪スタジアム・(株) ビバ・山本光学 (株)・(株) 楽天野球団・(株) モンベル 他

■ 教職員・公務員

国税調査官・京都府教育委員会 (小学校・中学校)・京都市教育委員会 (小学校)・長浜市役所 他

■ サービス・マスコミ

(株) TBSテレビ・(株) デイリースポーツ・東海テレビ放送 (株)・アサツー ディ・ケイ・東映 (株)・出光興産 (株)・大阪ガス (株)・関西電力 (株) NTTドコモ・静岡ガス (株)・北海道電力 (株)・中部電力 (株)・北海道旅客鉄道 (株)・西日本鉄道 (株)・九州旅客鉄道 (株)・伊藤忠商事 (株)・豊田通商 (株)・日本航空 (株) 他

■ 食品

アサヒフードアンドヘルスケア (株)・エスビー食品



スポーツ健康科学部初の公認会計士

原田 大地 さん

4回生／大阪府・大阪市立高等学校 出身
健康運動科学コース 所属

「スポーツ健康科学部の星にならないか？」その一言で、公認会計士を目指す

高校時代に顧問の先生より受けた、サッカーボールを蹴る際の入射角の重要性など、理論的な指導に興味を持ったことで入学しました。入学後、本学部でも「簿記」の資格が取得できると知り、なにか新しいことへの挑戦という、当初は軽い気持ちで勉強を始めました。簿記3級・2級の講座を学内で受講した際、指導教員から、「この学部から会計士になった人はまだいない。『スポーツ健康科学部の星にならないか?』」と発破をかけられ、公認会計士試験に挑むことになりました。学部の友達にも「公認会計士になる」と宣言。累計3,000時間以上の勉強で、2015年11月に資格を取得しました。

先日、大手監査法人から内定を頂きました。スポーツ健康科学と公認会計士という、一見関連性が無い分野のように見えますが、スポーツ健康科学部で学んだプロフェッショナルマインドを持って、仕事をしていきたいと考えています。



スポーツ用品メーカーシューズ開発職内定

篠田 茉那 さん

4回生／東京都・東京都立西高等学校 出身
スポーツ科学コース 所属

自分が開発したシューズやラケットがオリンピックの舞台で活躍している姿をみたい

スポーツに関わる仕事で、特にシューズなどの「ものづくり」に携わりたいと思い、スポーツ健康科学部に入学しました。現在は、スポーツバイオメカニクスを専攻しています。なかでも、硬式テニス特有の切り返し動作に着目し、テニスコートのサーフェス (種類) とシューズの組み合わせによる、パフォーマンスの変化について研究しています。スポーツ健康科学部の充実した実験設備を使いながら研究ができ、指導教員の先生も親身になって研究を見てくれるので、充実した毎日を過ごしているところです。

将来の進路では、大学院に進学して研究を続けることも考えましたが、2020年に東京オリンピックがあるというこの機会に、社会人としてキャリアを積み、オリンピックに深く携わりたいと考え、就職する道を選びました。研究開発職の採用は大学院生がメインで、学部生の採用数

取得可能な資格

- 健康運動指導士※1
- 健康運動実践指導者※1
- 日本体育協会公認スポーツ指導者※2
- トレーニング指導者※1
- ATC (米国 公認アスレティックトレーナー)
- 中学校教諭一種免許状 (保健体育)
- 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)

※1 認定試験の受験資格が得られます。

※2 資格取得に必要な基礎的な科目の修得が可能です。

が少ないと聞いていましたが、この度、スポーツ用品メーカーのシューズ開発職として内定を頂くことができました。

当初から、研究開発職への内定を目指し、「専門英語」という英語の学術論文を読み込む講義の履修や、トロントへの語学留学など、英語を使用して自らのスポーツ科学分野の研究を深めることができたことが評価されたのかもしれないと感じています。

将来の夢は、自ら開発に携わったシューズやラケットが、テニスであればグランドスラム、他のスポーツであればワールドカップやオリンピックなどの舞台で使用され、結果が出ている姿を見ることです。

立命館大学でキラリと輝く先輩を紹介中!



(株) カゴメ (株)・(株) ブルボン・(株) ヤクルト本社・ハウスウェルネスフーズ (株)・キリン (株) 他
■ 医療
武田薬品工業 (株)・アステラス製薬 (株)・(財) 近畿健康管理センター・塩野義製薬 (株)・シスメックス (株)・ゼリア新薬工業 (株)・東レメディカル (株)・日本赤十字社・ロート製薬 (株)・久光製薬 (株) 他
■ メーカー
キャノン (株)・テルモ (株)・(株) 豊田自動織機・

パラマウントベッ (株)・(株) LIXIL・アイシン・エイ・ダブリュ工業 (株)・(株) ワコール・日本たばこ産業 (株)・京セラ (株)・三菱製鋼 (株)・(株) ファーストリテイリング・帝人 (株) 他
■ 金融・保険
(株) 三重銀行・(株) 香川銀行・(株) 京都銀行・京都信用金庫・京都中央信用金庫・(株) 滋賀銀行・住友生命保険 (相)・第一生命保険 (株)・日本生命保険 (相)・三井住友海上火災保険 (株)・明治安田

生命保険 (相)・(株) 三菱東京UFJ銀行・(株) 三井住友銀行・(株) みずほフィナンシャルグループ 野村證券 (株) 他

■ 大学院進学

スポーツ健康科学研究科 博士課程前期課程

Learning

最先端の教育・研究環境が、
高度で充実した学びを
サポート

SUPPORT



最先端の教育・研究を実現するため、高度な研究に欠かせない充実した施設・設備を保有しています。

興味のある研究を深めるために学部生のうちから、このような環境を存分に利用することができます。



1 スポーツパフォーマンス測定室

野球やゴルフ、ランニングなどのスポーツ動作をはじめ、あらゆる動作の計測・解析が行える多目的スペース。複数の「ハイスピードカメラ」を設置しており、投げたボールの回転をスローモーションで観察するといった相対分析もできます。

2 エネルギー代謝測定室

「壁面のセンサ」で人間の1日の正確なエネルギー消費量を測定することが可能です。

3 低酸素実験室

低酸素環境下でのトレーニングが身体に与える影響を解析することができます。

4 栄養調理実習室

システムキッチンや調理器具が整っており、競技力向上につながるメニューや栄養価の高い料理などを実際に調理することが可能です。またダイニング部分は、子どもから高齢者までを対象とした「食育」を実践する場として活用します。



5 トレーニング指導実習室

トップアスリートの筋力増加を想定した各種「トレーニングマシン」や「フリーウエイト機器」を完備。現場におけるトレーニング技術の習得をめざします。

6 スポーツ健康指導実験室

筋パワーや持久力の測定評価ができる「パフォーマンス測定システム」や、人間の体型を3次元で瞬時に解析する「3次元人体計測システム」など、多様な機器を設置しています。

7 MRシステム・骨密度測定装置

人間の体内の状態や脳内の働きを調べることができる「MRシステム」、骨密度や体脂肪、除脂肪量などの体組成を推定する「骨密度測定装置」を設置。これらを利用して、スポーツ健康分野に関連した高度な研究ができます。

8 学部生が国際学会で発表

入学すると、特徴的な「プロジェクト発信型英語教育プログラム」を皆さんが学びます。そして、学部生のうちから、このようなポスターをもとに、海外の国際学会で発表を経験することも可能です。

奨学金

学生を全面的にサポートする
充実の奨学金制度

立命館大学では豊富な独自奨学金を設け、学業はもちろん、スポーツ活動、留学など、自分の目標にチャレンジする学生を幅広くサポートしています。本学独自の給付制奨学金のほか、日本学生支援機構や公的機関・民間団体などの各種奨学金制度が充実。→ 詳しくはリッツネットをご覧ください。

[立命館](#) [入試情報サイト](#) [検索](#)

学部生のうちから最新鋭の設備を使用できます！